



臨嶺会会報

第29号

2008年春発行

目次

特集「活躍する同窓の仲間たち」			
語り芝居劇団「はんぶんこ座」主宰 久保真智子さん	… 2	保健学科になって変わったこと	… 9
夢をかなえた女性起業家 花岡裕子さん	… 3	院生の日	… 10~11
看護師としてがん病棟で働いています 永井舞子さん	… 4	カミングホームデー 祝「卒後40周年」	… 12
シンガーソングライター 笹井維斗さん	… 5	最近の検査 血管超音波検査	… 13
就職・進学支援セミナー開催	… 5	卒業生の進路	… 14
エイズ予防に情熱をそそぐ 山田喜紹先生	… 6~7	事務局からお知らせ	… 14~15
在学学生 保健学科学生	… 8~9	松本便り	… 15
		臨嶺会総会のご案内	… 16
		編集後記	… 16

特集 「活躍する同窓の仲間たち」

語り芝居劇団「はんぶんこ座」主宰

久保 真智子さん（旧姓：柴田、衛検3回生）

久保真智子さんは、語り芝居演者の他、脚本、演出も手掛けています。一年に一度の定期公演では、新作を松本芸術館、音楽文化ホール等で発表するほか、県内各地の小・中学校、公民館文化公演、福祉施設等での公演、成人式での公演等にて活躍されています。

Q. 「はんぶんこ座」を立ち上げた動機を教えてください。

「はんぶんこ座」は語り芝居、一人芝居の一座です。オリジナルの脚本も演じますが、主に、話題の作家の文芸作品を演じています。子供の頃から演劇・芝居他を演じたり書いたりするのは好きでした。趣味がいつしか...です。

Q. 「はんぶんこ座」ネーミングの由来は何ですか？

収益金の半分は社会福祉に役立てよう、全部あげてしまうと不満も残る、半分ずつなら双方丸くおさまるだろう...との気持ちからです。

Q. 劇団の原動力は何でしょうか？また、この座を維持するために普段意識していることはありますか？

すばらしい日本文学を声に出せる喜び、皆さんに聞いてもらえる喜び...原動力はそれにつきます。この作品はどう表現したら良いのか？いつもそれを考えています。基本の稽古を毎日やるのは当然の事です。



Q. これからの夢は何ですか？

日本人が忘れてはならない名作は沢山あります。そういう作品をひとつでも多く、大勢の人に聞いてもらいたい、感動してもらいたい、そのためにはどういった演出が必要か、文学を語り芝居という形にして一歩一歩進んでいきたい。「久保真智子の語り」を確立していきたい。

語り芝居は私一人ではできません。その作品の魅力を最大限に生かすためには、音楽（ピアノ、ヴァイオリン、キーボード、和太鼓他）や体を使った表現方法（日本舞踊、モダンダンス他）、照明、音響等総合的なものが要求されます。それとは対照的に、聞き手一人に言葉だけで、そっと語りかける...そんな表現方法もあります。そんな自由な空間の中でこそ、語り芝居は命が感じられるのだと思います。

今までの主な上演作品は、宮沢賢治作品多数、松本・安曇野などの民話、森鷗外作品より『高瀬舟』『山椒太夫』、高田光也作『泉小太郎の母タツの決断』、内川幸雄作『修羅の月』、鬼無里村伝説『鬼女紅葉』、藤沢周平作『江戸女絵姿十二景』、竹取物語より『かぐや姫、月に』等、数々の作品を手掛けています。

みなさんも是非、情熱的でパワフルな「はんぶんこ座」の公演を一度ご覧になってみてはいかがでしょうか？新しい世界の広がりを感じることができると思います。

（久保田 聖子 記）



夢をかなえた女性起業家

花岡 裕子さん（旧姓：福田、短大5回生）

QOL（Quality of life）

二人の子供の子育てを通じて、以前から心の豊かさとは何かについて常々考え、いつか人々の豊かな暮らしに貢献できる仕事をしていきたいと思っていました。

その中、病院の検査室にパート勤務をするようになり、QOL（Quality of life）という言葉を知りました。QOLは1960年代に提唱され、80年代以降は医療現場やリハビリテーション分野で強調されていましたが、現在では生活の質として福祉や日常生活において広く用いられています。QOLは「人々の豊かな暮らし」に通じるキーワードだったのです。

日々の生活におけるQOLは健康を基盤とし、健康は栄養、運動および休養によって支えられています。そこで、栄養に関係する食の安全と安心のために食品衛生に取り組もうと衛生検査所を立ち上げました。

今後はQOLについてさらに理解を深めるとともに、皆様のお力添えを頂きながらより良い検査を目指して、地域に情報を発信していきたいと思っています。



一人 6役やっています。
母・妻・嫁・臨床検査技師・営業マン・経営者…

し、準備期間1年を経たのち平成18年3月に長野県第68号衛生検査所として認可を受け、開所にこぎつけました。その間、いろいろな職種の方々から意見をお聞きし、自分なりの構想をたて、資金・資材の調達、開設場所探し、関連法規の勉強、認可に必要な医師の確保（精度管理者・指導監督医）等、多岐にわたる課題をクリアし開所されたのですが、かなりご苦労もされてきたことでしょう。なにより一番の力になったのはご主人の“やってみよう”という言葉だったそうです。身近に最強の理解者がいる。これほど女性にとってうれしいことはありません。こうと決めた時の女性は強いですね。孔子の人生訓“四十にして惑わず”を実践されたように感じました。



聞き手 沖村 幸枝

日本の屋根、アルプスの麓。田んぼや畑がまだまだ残っている安曇野市豊科。山紫水明の地といっても過言ではないこの地に“あずみの生活研究所”があります。こじんまりとした建物ですが、とても礼儀正しい花岡所長さんに中を案内していただいた時、休憩室に子供さんの描いた絵が飾られていて『お母さん、頑張る』という強い気持ちがひしひしと伝わってきました。

花岡さんは検査技師として働いていた頃、ふと、これからの将来このままでいいのだろうか、QOL（Quality of Life）の概念が頭を持ち上げてきたそうです。何かをやらなければ、何かをやりたい、そんな熱い思いに後押しされ、3年前、松本商工会議所主催の「独立開業 創業塾」を受講

検査所で現在取り扱っている検体は、製造業者の従業員検便、製造された製品の細菌検査が主体ですが、変わったところでは牛の初乳の細菌検査、岩盤浴に使用している岩（石？）の細菌検査があったそうです。また現在の時代を反映してか消費者からのクレームに対応するための検査、製造元が製品納入先からの安全性を保障するデータ請求に応じるための検査、異物混入の検査などの依頼があるそうです。同じ細菌検査でも、病院の検査室とはかなり趣が異なります。検便検査で共通点があるものの他の検査では環境汚染菌等がターゲットとなるため、病院検査室では経験できないような細菌・真菌等が検出され、とっても興味津々です。

最近では、公定法（国や公的団体により定められた測定方法のこと）に基づいた食品衛生検査指針が変更されたり、感染症新法の改正があったりで、検査環境・検査方法の見直しが迫られるといった厳しい状況にあるそうです。しかし、花岡さんは知識吸収欲が大いにあり勉強家だと確信したので、きっと逆境にめげずますます活躍されることでしょう。

「看護師としてがん病棟で働いています。」

永井 舞子さん（短24回生）



仕事中の永井さん



国立がんセンター
中央病院
東京都中央区築地5-1-1

私はいま看護師として、「国立がんセンター中央病院」で働いています。

信州大学医療技術短期大学部を卒業してから、地元の病院で臨床検査技師としてMRI検査を行っていました。

検査をしているうちに、もっと人と関わる仕事に就きたいと思うようになり、小学生の頃の夢であった看護師になろうと看護学校に進学しました。信州大学ではありませんでしたが、松本の看護学校で再び微生物の授業を川上先生に教えていただいたり、とても楽しい学生生活を送ることができました。実は、学生になりたかったのもありましたが…。看護学生の実習では、学生一人につき一人の患者を受け持たせていただき、その人に合った看護を実践します。そこで出会った一人のがん患者の明るさと、前向きに人生を送っている姿に私も勇気をもらいました。そしてがん疾患の方と関わった仕事に就きたいと思い、今の職場に就職を決めました。

私の勤めている病棟は、主に乳腺（乳がん）・腫瘍内科、脳神経外科の病棟です。看護師2年目でまだ新人ですが、闘病生活を送っている患者とかかわり、一緒に喜んだり、悲しん

だり、日々患者に学ばせてもらいながら仕事をしています。

ダブルライセンスを持っているといっても、検査技師としてはMRI検査を担当し、臨床検査技師の仕事から離れてる期間が長く、検査の知識を活かしているとはいえません。もっと勉強をしておけばよかったと思う時がたくさんあります。患者が安全・安楽に治療ができるようにチーム医療を行えるよう協力が必要です。根拠に基づいた治療・看護のために検査は重要な役割を果たしていると考えます。

臨床検査技師でも看護師でも、患者にとってより良い医療を提供するために働いています。病気と闘う患者や家族、人生のさまざまなステージに立ちあうことができる看護の仕事は、辛いこともありますが、楽しく充実した日々を送っています。

日本人女性の20人に1人が乳がんになるといわれています。乳がん病棟で働いていて、同じ女性として思うことは、シンボルである乳房を失うことの辛さです。早期発見・早期治療のため、皆さんもぜひ乳がん検診を受けてください。

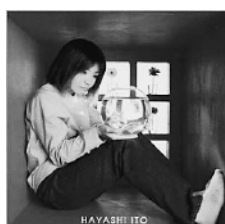
シンガーソングライター

笹井 維斗さん（旧姓：林、短大15回生）

うたをうたうということ

せっかく検査技師の資格をとらせていただいたのに、他にもっとやりたいことが見つかってしまったのはちょうど10年くらい前のことでした。曲をかいて、詩をかいて、うたをうたいたいくなったのです。うたをうたうこと、詩、曲をかくこと。これは実は日々をどう生きているか、ということだと思います。うたは直接声を使うので、なんとというか、全部ばれてしまうのです。人となり。中身のぎっしり詰まったうたをうたうには、中身のある日々を送るのが一番なんです。だから自然と上っ面な自分にならぬよう、楽しい（ある意味苦しさを含む楽しさ）毎日を送れているのかもしれない。そんなふうにならただ過ごしていると、はじめは数えるほどしかいなかった音楽仲間が、どんどん増えていきます。人と人との繋がりは本当に不思議で、誰に感謝していいんだか、幸せ者の私です。こんなにいいものを作る人達が自分の仲間だなんて、夢のようだと思うくらいです。そういうとき、続けることに意義があるんだなあと思ったりします。そして私のうたをきいてくださった方から、明日もがんばろうと思いました。なんてメールなどをいただいた時なんか、ほんとに続けていてよかったなあとまたつくづく思ったりします。もういい歳になりましたが、いくつからでもやりたいことははじめられる、全力でやれば、いいことがたくさん待っている、そんなふうに、この言葉にもっと説得力が出るように、これからもがんばります。うたをうたうということ。それはもう、私の一部です。（第25号に掲載済）

URL : <http://www.hayashiito.com/>
“はやしいと 本トのはなし”



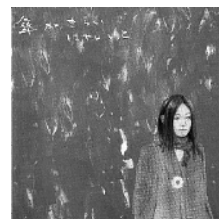
1st Album
『晴れの日のまえの日』



3rd Album
『フレアー』



4th Album
『あの日の約束』



5th Album
『傘がきれい』

就職・進学支援セミナー開催



平成19年11月28日（水）、臨嶺会と信大保健学科検査技術科学専攻共催による、学生を対象とした就職・進学支援セミナーが開催されました。分野・規模の異なる施設に勤務されている方々に、仕事の内容・特徴などについて、また、先輩としてのメッセージをお話いただきました。

臨嶺会の新事業として平成17年から始まった本セミナーの今年の講師を次の方々をお願いしました。

清水敏夫さん（衛1） 厚生連篠ノ井総合病院
細萱茂実さん（衛6） 山梨大学病院中央検査部
保科洋美さん（短19） 諏訪マタニティークリニック
石川由起子さん（短22） キッセイ薬品工業（株）
松田和之さん 信州大学病院臨床検査部

2、3年生を主に約50名が出席し、貴重なお話を伺うことができました。またセミナー終了後には先輩を囲んで質問が集中し、予定時間を越えて話がはずみました。

在学生 保健学科学生

夏休みの研究室にて将来の夢に向かう4年生。

Q. 夏休みなのに何をしてるのですか？

病理の研究室で染色の研究をしています。先生に誘われて出入りするようになったんですが、ここでの勉強の成果は10年後にわかるでしょう。

Q. この大学で学ぶことができてよかったですか？

もともと医学系の勉強がしたかったのでここへきました。今はこれからの自分の目標が見つかって嬉しい。ここはとても厳しいから、しっかり勉強して無事に試験を通過し進級できたときはとても嬉しかったです。先生方は厳しいけれどみな一生懸命に教育、指導してくださったり学生の可能性を引き出してくれる先生が多く、よい大学だと思っています。

Q. 卒業後の進路について教えてください。

来年は細胞診検査士の養成校へ進み、そのあとは甲信越付近の病院で病理の仕事につきたいと思っています。

Q. 一人暮らしの感想はどうですか？

一人暮らしのいいところは、誰にも気兼ねなく自己嫌悪（後悔）に陥れること、ですね。

Q. 後輩にひとこと。

後輩には勉強と遊びのバランスを考えてくれ、そして先生方とは積極的に親交を持ち、仲良くしてほしい、そうすれば、いろいろな可能性を提示してくれたり、見えてくるものがある、と言っておきたいですね。（新潟県出身。男性）

充実した毎日の3年生。

Q. 毎日の生活の様子を教えてください。

勉強以外のときは時折大学の体育館で筋トレをしたり、ジョギングをしています。

自炊していますので、スーパーの夕方の値引きなども上手に利用しています。

Q. この大学に来た理由は何でしょう？

ここへ入る前には養護学校の教員でした。職に不満はなかったのですが、医学への興味を捨てきれずにいたので、思い切って受験しました。級友は皆勉強熱心だし穏やかでやさしく、10歳の年齢差も感じません。自然体で過ごせるのでとても満足しています。

Q. 最近嬉しかったことはありますか？

今年から新たに始まった「再チャレンジ支援総合プラン」の学び直し支援（文部科学省）に申し込んで、前期の授業料免除してもらえたので、とても助かっています。



Q. 今の思いはどんなことでしょう。

今こうして勉強できる場があることが満足です。せっかく手にした時間を大切にしたいので、何にでも興味をもって取り組んでいます。病院の検査技師として自分で選んだ道を進んでいきたいと思っています。

Q. 年下の同級生になにか一言。

勉強できるチャンスを十分に生かしているいろんなことを幅広く学び、充実した学生生活を送ってほしいと言いたいです。（群馬県出身。男性）

ちょっぴり余裕がでてきた2年生。

**Q. 最近の様子は
どうですか？**

1年のときはこまくさ寮にいたので、とてもらくちんで楽しかったです。寮は2または4人部屋でした。2年になると寮から出なく



てはいけないんですが、今の大家さんはとても親切で、野菜などいっぱいもらっちゃう。家賃は4万円で環境もよくて快適。1年のときは混声合唱のサークルと塾講師をしていましたが、2年になって、勉強が忙しくなったのでやめました。

Q. 普段の生活の中でエピソードはありますか？

おっちょこちょいで抜けているので、失敗談は数えきれないほどあります、山ほど。寮では廊下で革バックの艶出しスプレーを使ったために、そのあと皆を転ばせてしまいました。外に干した洗濯物が風に飛ばされて落ちたらしく、誰かが拾ってドアノブにかけてくれてあったのにはとても恥ずかしかったです。友達とケーキ作り、たこやきパーティなどしますが、その時に机を焦がしたりもしました。お風呂の残り湯を洗濯機に移すホースがはずれて水浸しになったこともあります。

Q. 松本や仲間の印象はどんなですか？

松本は思っていたより田舎の感じ。クラスはわりとおとなしくて静かです。ある先生から消極的なクラスだと言われました。

Q. 今の思いはどんなことでしょう。

もっといっぱい勉強して知識を得たい。血液検査学に興味があります、なんて深いんだろうって思います。

Q. 将来はどんなふうになりたいですか？

興味のもてる分野で働きたいし、研究もしたい、と思っています。親は「はめをはすすな。就職は自宅から通えるところにして弟の面倒をみろ」っていうんです。もっと私に自由をくれーっ！いつも精一杯かけずり回ってる気がするし、もっとゆっくりした時間がほしい（勉学に励む時間を？！）って思います。（岐阜県出身。女性）

保健学科になって変わったこと

前学期最終日、新生活に慣れてきた1年生2人。

Q. ひとり暮らしってどうですか？

(Aさん) 寂しくて辛くて5月病になりました。部屋に帰ってもひとり。連休に実家に帰ったのですが、信州に戻りたくなかったです。だけど耐えて戻ってきました。唯一の楽しみは全学のバスケのサークルでした。その後、同じアパートの隣人と仲良しになり、助けられました。7月になって慣れてきたのと、期末試験の勉強に追われたおかげで寂しい気持ちのピークは越えられました。今の楽しみは友達との何気ないおしゃべり。

(Bさん) 最初は寂しかったけれど慣れてきました。今でも母と毎日30分くらいは電話で話しています。母の方からかけ直してくれるので、電話代は助かっています。

Q. 得意料理はありますか？

(A) ハヤシライス。大好きだからよく作っています。

(B) えーっと、煮物かな。

Q. 臨床検査技師を目指した理由はなんでしたか？

(A) 高校1年のときの進路指導で、臨床検査技師という職業を知り、自分に向いていると思いました。信州大学の環境はいいですね。国家試験の合格は100%だし来てよかったと思っています。

(B) 保健師である母に検査技師という職種があることを聞きました。高校2年のとき、オープンキャンパスに来ましたが、校舎全体が暗くて、いい印象はなかったんです。でも実際に来て見たら、トイレとか食堂など案外きれいでした。でも、大学って、高校までと違って先生との関係が希薄だと思います。

Q. 最近、嬉しかったことってなんでしょ。

(A) ちっほけなことでも、嬉しくなる性格なので、なんでも楽しい。

(B) 具合が悪くなって寝込んだときに、母がすぐ来てくれて、そのとき作ってくれた手料理に感激しました。光ファイバー対応のはずのアパートだったのに、実際には最近になってようやく使えるようになってインターネットできるようになりました。



Q. 将来はどんなところで働きたいですか？

(A) 病院で働きたいですね。

(B) 私も病院の現場で働きたいです。

Q. 今、何か言いたいことがありますか？

(A) 家族と離れてみて、とりわけ母のありがたみが身にしみました。夏休みは母の手伝いをいっぱいしてあげたい。そしてお料理のレパートリーも増やしてくるつもり。それからサークルって、ほんとうに入ったほうがいいと思います。特に全学のものは、いろんな学部の人と友達になれるもの。

(B) 専門的な勉強はまだあまりないですが、専門科目のより深い勉強を楽しみにしています。だけど難しいんだろうなあ。

(A：岐阜県出身。女性。B：山梨県出身。女性)

入学試験の種類と合格者数

医療短大衛生技術学科定員40名
 大学個別学力試験 30名
 推薦入試 10名

保健学科検査技術科学専攻定員40名
 大学入試センター試験
 前期日程個別試験(学力) 23名
 後期日程個別試験(面接) 9名
 推薦入試 5名
 3年次編入試験 3名

男女比

医療短大 男性1～数名/40名

保健学科 男性：女性
 1年生 13：31(名)
 2年生 19：26
 3年生 18：21
 4年生 14：24

授業科目の変遷(一部抜粋)

医療短大29回生の場合
 (平成16年度卒業)

科目名	区分	学年	単位
臨床化学	必修	2	2
臨床化学実習I	必修	3	1
臨床化学実習II	必修	2	2
臨床化学実習III A*必修	必修	3	2
臨床化学実習III B*必修	必修	3	1

*臨床実習



保健学科5回生の場合
 (平成19年度入学)

臨床化学分析学	必修	1	1
病態化学検査学	必修	2	2
脂質検査学実習	必修	3	1
酵素検査学実習	必修	3	1
薬理・栄養検査学	必修	3	1
機器分析学	選択	3	2
健康食品学	選択	3	2

院生の一日

2007年4月、新たに「信州大学大学院医学系研究科修士課程保健学専攻」が設置されました。今回は検査技術科学分野1期生の大学院生生活を紹介したいと思います。



←AM 9:00 ☺

朝は院生室からスタートします。院生には研究室があり、各自のロッカーとデスクも用意されています。



☺AM9:30→

白衣を着て、早速実習室へ。日中は自分の研究はもちろん、学部生の実習のお手伝いや、4年生の卒業研究の指導もします。

☺PM 2:00→

附属病院検査部の方々にもお世話になることも。いつもの確かなアドバイスをしてくださる検査部の方々是我们的目標です。



←PM 5:30 ☺

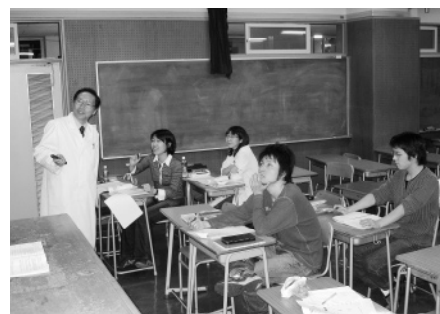
院生室でお菓子を食べたりしながらの休憩タイム。

差し入れは随時受付中です♪→



☺PM6:00→

今日は藤田先生の授業。社会人は平日の日中は仕事のため、授業は夜に開講されます。



←授業がない（ときには授業がある日も）夜は研究を進めます。他にも論文を読んだり、学会の準備をしたり、大学院ならではの（?!）の時間を過ごしています。

院生の紹介

阿部雅仁（藤田研究室）

学部生の時について、院でも検査専攻1期生の出席番号1番やってます(^_^)…卒業生の皆さんなら藤田研究室所属…と聞けば、おおよその研究テーマはわかってしまうかと思いますが、指導教員が違う先輩方や医短・保健学科のことを忘れてしまった薄情な方のために念のため…。藤田研究室では主に免疫グロブリンをテーマに扱っていて、自らは異常IgAやアルブミンの電気泳動や精製、構造解析etc…と日々、IgA&アルブミン中心の生活に浸っています。同じ保健学科1期生でも病院や企業に就職して社会でがんばっている人がいるんだなあ…と思うと、正直現在学生進行形の自分のポジション取りが多少複雑なところはありますが、そんな短い2年の学生生活を充実したものにするために切磋琢磨していく所存であります(^_^)。大抵は北校舎3~4Fをうろちょろしているので、いつでも遊びに来てください。特に、全国各地のご当地名産品を持ってお見えの方、大変welcomeです！！

石垣宏尚（藤田研究室）

今の研究テーマはM-蛋白の移動度に影響を与える寒天成分の解析を行っています。学部生のときと違い、自分で計画を立てて実験していくのは大変ですが、面白くもあります。最近は4年生の卒研生が来たこともあり、研究室が賑やかなことになっているのはいいのですが、人に教える大変さが身に染みて分かり、テンパります。また、学部生の実習に立ち会う機会も増え、さらにテンパってます。なにより話しかけるのにかなりの勇気が必要です。無理です・・・卒業までに人見知り少しは良くなればいいなあと思いつつ頑張っています。

小林香保里（藤田研究室）

研究テーマはIgE骨髄腫患者の血清IgEの解析。病院で蛋白分画・アイソザイムの検査担当になった。苦手分野なのに次々と『?』な検体に遭遇し、解析する手段・知識が欲しい～という思いだけで院に入れていただいたところ…他の院生とはレベルが違う！今まで何も考えてなかったのか、私!?と反省し、恥ずかしいけどね・・・楽しいよと開き直す私を友人はオバサン化と言います。最終的に病院に還元し、後輩も続いてくれるような道ができればと思います。



柳奈緒美（藤田研究室）

私は社会人卒でこの大学院に入学しました。藤田研究室に在籍し、M蛋白が原因で起きる異常反応について解析を行っています。実際に仕事をしながら講義を受けて研究も行うことは私にとって楽なことではありませんでしたが、最近は研究結果も出てきておもしろくなってきました。卒業まで精いっぱい頑張りたいと思います。

手塚佳子（川上研究室）

川上先生、小穴先生の指導の下で”細菌の物理的・化学的条件に対する抵抗性”をテーマに実験を進めています。10数年ぶりの学生生活に初めは地に足がつかず、凹みまくった日もありましたが、自分が携わっている分野以外の講義は興味深く、やっとなお楽しいと思えるようになりました。快く送り出してくれた職場の理解、周囲の人達、特に同じ技師仲間からの叱咤激励は本当に有難く、学生生活を送る上での活力となっています。

松原未樹（川上研究室）

研究テーマは β -lactamaseの検索と解析です。大学院ではやはり研究がメインとなり、論文を探して読むところから結果を出すまで自分の力でやらなければならないので、余裕がなくてときには泣くくらいとても苦労していますが、先生方や病院の技師の方々に支えていただき、なんとかがんばっています。2年間はとても短いですが、自分の研究分野だけでなく、もっと多くのことを学べたらいいなと思っています。

この6人で充実した大学院生活を送っていきたいと思います。応援よろしくお祈りします☆

END



カミングホームデー 祝「卒後40周年」



信州大学医学部附属衛生検査技師学校 第1回卒業式 昭和43年3月5日



昭和43年3月に第1回卒業生として卒業し、各地に就職してから40年。残念なことに病気で1人の仲間を亡くし、各自それぞれの人生を歩み、さまざまな事を乗り越え今に至りました。でもみんなとてもいい顔をしていますでしょ！卒後初めて会う人もいましたが、あった瞬間に40年前に戻りました。大変楽しい時を過ごし、次回の約束を交わした貴重な時間でした。青春時代の思い出はとても大切だということを実感した同級会でした。

(三澤 和子)

血管超音波検査

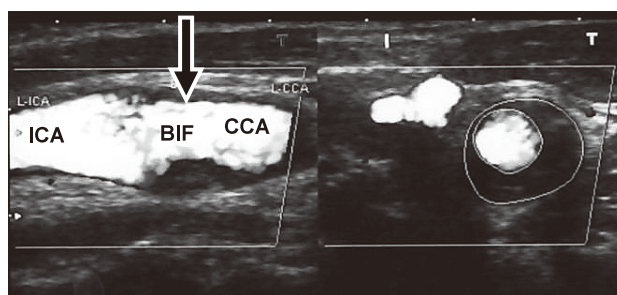
JA長野厚生連佐久総合病院臨床検査科
荻原 毅（短5）



近年生活習慣病の増加に伴い動脈硬化性疾患が増加してきており、血管超音波検査の重要性も益々高くなってきております。血管超音波検査の特徴としては、無侵襲なこととともに血管内腔が直接観察できることが挙げられます。特に高周波プローブが使用できる表在血管は血管内の詳細な構造が描出できます。また、ドプラ法により血流情報の評価も可能です。ここでは代表的な検査について述べることにします。

<頸動脈エコー>

頸動脈の動脈硬化は頭蓋内病変だけでなく、冠動脈など全身の動脈硬化との関係が深い事が、多くの研究で指摘されています。このため頸動脈エコーは動脈硬化のスクリーニングとして有用な検査であり多くの施設で実施されています。実際の検査ではIMT（内中膜複合体肥厚度）の計測、プラークの厚さや数・性状の評価、狭窄率の測定（エコーでは横断像から面積狭窄率も測定可能）や血流情報の評価などを行います。（右図は左頸動脈分岐部の狭窄例）



<左頸動脈> 左：縦断像 右：横断像

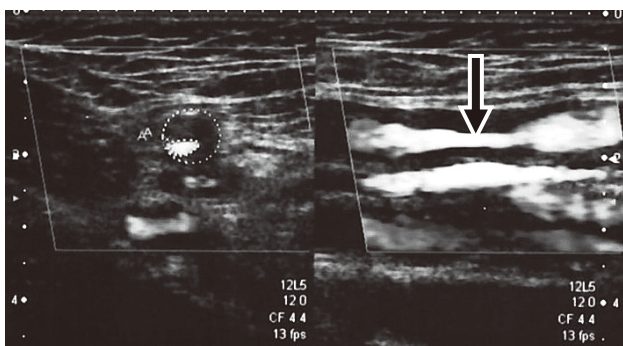
パワードプラ法により血管内腔の血流のある部分が高エコーに描出されている。

ICA：内頸動脈、BIF：分岐部、CCA：総頸動脈
矢印の部分でプラークにより内腔が狭窄しているのがわかる。

狭窄率（面積法）66%

<下肢動脈エコー>

最近増加しているASO（閉塞性動脈硬化症）では病変の範囲や性状、狭窄の程度などの評価法として重要な検査となっています。またステントやバイパス手術などの治療後の経過観察法としても有用な検査となっています。（下図は左下肢のASO例）



<左大腿動脈> 左：横断像 右：縦断像

パワードプラ法により血管内腔の血流のある部分が高エコーに描出されている。

矢印の部分を中心に血管内腔が狭窄しているのがわかる。

狭窄率（面積法）最大：84%

<下肢静脈エコー>

エコノミークラス症候群で有名になり、肺塞栓症の原因として重要な下肢深部静脈血栓症（DVT）では、病変の範囲や程度の評価法として診断に不可欠な検査となっています。また、表在静脈の静脈瘤では静脈弁不全の存在範囲や由来静脈などの検索を目的に検査が行われます。結紮術併用の硬化療法や選択的ストリッピング術などの治療の術前マーキングにも利用されています。

<腎動脈エコー>

最近、粥状硬化性腎動脈狭窄症（ARAS）が治療抵抗性高血圧や腎機能障害をもたらし、腎不全に至る疾患として注目を集めています。腎動脈狭窄のスクリーニング法として、腎動脈主幹部のドプラによる血流計測が有用です。また、葉間動脈などの血流計測により腎実質障害の程度も評価可能です。

その他、大動脈やその分枝動脈、経頭蓋エコー、FMD（血流依存性血管拡張反応）などの検査も行われています。今後、血管超音波検査はますます伸びていく分野と思われます。

卒業生の進路



保健学科2回生 卒業生38名（H20年3月卒業） H20年1月30日現在（ ）内人数

就職：24名

信州大学医学部附属病院（1）、JA長野厚生連佐久総合病院（2）、JA長野厚生連篠ノ井総合病院（1）、JA長野厚生連安曇総合病院（1）、JA長野厚生連富士見高原病院（1）、諏訪赤十字病院（1）、相澤病院（1）、（株）ミロクメディカルラボラトリー（1）、帝京大学医学部附属病院（1）、順天堂大学医学部附属病院（1）、東京女子医科大学病院（1）、虎ノ門病院（1）、（株）エスアールエル（1）、恵那市職（1）、聖隷福祉事業団（1）、名古屋大学医学部附属病院（1）、名古屋市立大学病院（1）、名古屋掖済会病院（1）、総合上飯田第一病院（1）、名古屋医師会協同組合名古屋臨床検査センター（1）、岐阜大学医学部附属病院（1）、済生会富山病院（1）、京都桂病院（1）

大学院進学：11名

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（6）、信州大学大学院医学研究科医科学専攻（2）、名古屋大学医学系研究科（2）、筑波大学生命環境科学研究科（1）

専攻科進学：1名

藤田保健衛生大学短期大学専攻科臨床工学技術専攻（1）

事務局からのお知らせ

ホームページ開設

平成19年4月から臨嶺会のホームページを開設いたしました。保健学科広報の都合によりPDF版ですが、1～2月毎に最近の話題、お知らせ、求人情報などを更新しています。ぜひご覧ください。保健学科ホームページの中の保健学科同窓会からアクセスできます。

保健学科ホームページ

<http://alps2.shinshu-u.ac.jp/>

保健学科同窓会ホームページ

<http://alps2.shinshu-u.ac.jp/subject/reunion.html>

カミングホームデー

平成20年の該当は、卒後20年が短大13回生（平成元年3月卒）、卒後40年が衛2回生（昭和44年3月卒）です。臨嶺会として補助、協力をいたしますので、今年または来年同級会を開催し旧交を温めてください。

会費未納の方へ

今後、会員の皆様から会費を頂くことはありませんが、平成20年1月末で会費未納の会員には未納金額のお知らせを同封してあります。できるだけ早く納入してください。なお、振込用紙の通信欄に衛・臨・短何回生、会員番号を必ず記載してください。

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号「00520-0-20187」

加入者名「臨嶺会」

大学院修士課程

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）を修了すると、修士（保健学）または修士（看護学）の学位が取得できます。学生募集案内等は保健学科ホームページをご覧ください。社会人も出願できます（医療短大卒業でも出願可能な場合があります）ので、ご質問、詳細につきましては保健学科検査技術科学専攻教員または事務局までご連絡ください。



松本便り



例年にない早いペースでインフルエンザが流行しているようですが、皆様には元気で過ごしの事と思います。

前回号で紹介しました信大病院の外来棟も平成21年完成に向け、急ピッチで工事が進んでいます。完成予想図を掲載しました。外来棟の中はどうなっているのでしょうか。皆さん、想像してみてください。完成後は、自分のイメージと合致したか確認されたらどうでしょう。楽しいですよ。

信大病院の南側にあった長野県がん検診・救急センターが、長野県松本旭町庁舎となりました。庁舎内には長野県難聴児支援センター、長野県難病相談・支援センターがあり、信大病院が長野県より業務委託を受け、実際の業務を行っています。他にがん総合医療センター、先端医療教育研修センターが入っています。多分野にわたる総合センターです。

信大病院臨床検査部部長の勝山努先生が、平成20年3月で定年退官されます。病院長、検査部部長として力強いリーダーシップをとってこられた先生の退官はとても寂しく感じられます。しかし、検査部の歴史に新たなページがつけ加えられようとしています。今後の発展を皆様とともに願いたいと思います。



信州大学医学部附属病院臨床検査部 沖村 幸枝

事務局への連絡方法

改姓・住所・勤務先等の変更届け等の事務局への連絡はメール、ハガキ、封書のいずれかの方法によりお願いします。また、市町村合併による住所変更につきましても必ずご連絡をくださいますようお願いいたします。

求人・求職情報

事務局に求人、求職情報をお寄せください。
☆ 勤務施設で臨床検査技師を募集している
☆ 臨床検査技師として復職・転職したい
等のご希望をお持ちの方などご一報を願います。

卒業後の証明書申し込み方法

卒業証明書、成績証明書等の申込みは、郵送および窓口のみによる受付となります。メール、FAX、電話では受付いたしません。詳細は信州大学ホームページの対象者メニュー「卒業生の皆様」より「卒業証明書」の「医学部」をご覧ください。

<http://www.md.shinshu-u.ac.jp/SUMIS2/s-syouseisyo.html>

【郵送申込の場合】

封筒の表に「証明書請求」と朱書きし、以下のものを同封してください。

(1) 身分証明書の写し：運転免許証、パスポート、健康保険証、年金手帳などの写し。卒業後に姓名に変更があった場合には戸籍抄本（原本）の提出が必要となります。

(2) 証明書発行願：証明書発行願様式をダウンロードしてご利用ください。または、以下の項目を記入した用紙を提出してください。

1.氏名・ふりがな 2.生年月日 3.学籍番号 4.学部・学科・専攻等 5.卒業年月 6.現住所 7.連絡先電話番号（自宅及び日中連絡のとれる携帯電話等） 8.証明書の種類及び枚数 9.提出先・使用目的
(3) 返信用封筒（長形3号）：宛名を明記の上、切手を貼付してください。必要証明書の枚数・組み合わせにより郵送料が増しますので、見合う料金を貼付してください。不足が生じた場合、後日請求させていただきます。

≪家族・代理人による申込の場合は、上記のほか以下の2点も併せて送付願います。≫

(4) 委任状：特に所定の書式は指定しませんが、本人の意思が確認でき、日付・本人署名・捺印が必要となります。

(5) 代理人の身分証明書の写し：運転免許証、パスポート、健康保険証、年金手帳などの写し。

【窓口申込の場合】

平日8時30分～17時00分 ただし祝祭日及び年末年始（12月29日～1月3日）は除く。

◎持参するもの

(1) 身分証明書の写し：運転免許証、パスポート、健康保険証、年金手帳などの写し。卒業後に姓名に変更があった場合には戸籍抄本（原本）の提出が必要となります。

≪家族・代理人による申込の場合は、上記のほか郵送申込の場合と同様の2点も併せて持参願います。≫

【申し込み・問い合わせ先】

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部学務第2係

Tel. 0263-37-2352 (ダイヤルイン)

臨嶺会総会のご案内

第14回臨嶺会総会を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。多くの会員の皆様のご出席をお願い申し上げます。

日時；平成20年3月29日（土）13時30分より

会場；保健学科211講義室（中校舎1階）

内容；総会 経過報告
事業報告
会計報告および会計監査報告
役員改選
その他

講演会

講師 牛山 喜久 先生（平成20年3月末 定年退職）

懇親会 [会場：ライジングサン（旭会館2階）]

参加費 1,000円

添付の葉書で出欠席をお知らせください。締め切り 3月7日 必着

編集後記



今回の特集では4名の方にご協力いただきました。きっと、まだまだ他にもたくさんの方が、いろいろな資格を取得したり、趣味が高じたりして、新たな自分を発見し、活躍していることと思います。編集作業をしていく中で、そんな方々からの話をもっと聞いてみたくなりました。機会がありましたら、是非また特集を組みたいと思いますので、お便り待ってま〜す(^o^)/

ところで、第28号（前号）臨嶺会会報をご覧になられて、皆さんどのような印象を持たれたでしょうか？そして今回は……。編集委員会としましてはより良い会報を皆さんと一緒に作っていきたく思っております。皆さんの意見（特に悪い点）をお聞かせください。また、次号での特集内容を募集したいと思います。こんな特集を組んでほしい等、ありましたらどしどしアイデアを送ってちょ(*^o^*)

最後に私事ですが、昨年開催されました“まつもと市民オペラ「こもり」全幕公演”は大盛況の内に終了いたしました。ご来場下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

（2008.1 文責 石川伸介）

臨嶺会会報 第29号

臨嶺会会長	奥 村 伸 生
事務局	寺 澤 文 子
	小 穴 こず枝
	亀 子 文 子
編集委員会	石 川 伸 介
	久保田 聖 子
	沖 村 幸 枝
編集協力	赤 羽 昌 子
印刷	株式会社プラルト

臨嶺会事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻

Tel. 0263-37-2387（ダイヤルイン）

Fax. 0263-37-2370（保健学科事務部）

e-mail fterasa@shinshu-u.ac.jp（寺澤文子）

ホームページは下記より

<http://alps2.shinshu-u.ac.jp/subject/reunion.html>

